

市長 記者会見

日時：令和7年10月14日(火)10:00～

場所：市役所本庁舎3階 庁議室

最初に、リニューアルを進めています「ウズパーク」について発表いたし

ます。現在、今年度末を目標に拡張工事を進めております「ウズパー

ク」ですが、大きくは3つの内容のリニューアルであり、

・1つ目は、フットサルコートの新設、

・2つ目は、バスケットコートの移転増設、

・3つ目は、スケートパークの増設を行っております。

もともとの「ウズパーク」の西側にフットサルコートとバスケットコートを

設置し、現在のバスケットコートがある所へ、スケートボードエリアを

拡張します。

スケートボードエリアについては、今までの「ストリート」種目用に加え

「パーク」という種目の施設を増設する予定です。

今回、1つ目の、フットサルコートの新設、2つ目のバスケットコートの

移転増設が完成したことから、この2つの施設を10月18日(土)から、

試行運用として供用を開始します。

まず、整備備内容についてです。1つ目の、新設した「フットサルコート」ですが、フットサルとしては 40m×20mのメインコートが1面あり、

人数に応じては、分割し、30m×20mのサブコート2面としても

ご利用いただくことができます。フットサルコートは、全面人工芝のフィールドですので、フットサルだけでなくランニングや、ヨガなど様々な使い

方ができると考えています。

また、普段、人工芝で遊んだことのない子どもたちも自由に利用ができるよう、朝7時から夕方5時まで、金曜日は4時半までは、誰でも

も遊べる時間帯としていますので、ぜひ、多くの皆さんに楽しんでいた

おも
だきたいと思います。

なお、現在、ウズホール横の芝生広場で行われています「徳島ヴォ
ルティスのジュニア向けのサッカー教室」はこちらへ移転し、これまでどお
り毎週金曜日の 16時30分から占有で利用していただくこととしており
ます。

次に、増設した「バスケットコート」につきましては、これまで土日祝の
休日を中心に、たくさんの方々にご利用いただきましたので、
もともとスケートパークの北側にあったものを移設し、この度、3×3 コー
トを 1 面、新たに加えました。これで 3×3 コート 3 面分となり、既存
の施設の 1.5倍となっております。

今回の試行運用の期間は、10月18日(土)から 12月14日(日)ま
でといたします。

この期間の利用時間につきましては、フットサルコートが毎日7時か

ら 17時まで。ただし、金曜日は 16時30分までとします。試行期間の

間は、予約制の時間はなく、自由に使っていただこうと思っておりま

す。また、バスケットコートの利用時間につきましては、これまでどおり

朝7時から20時までといたします。なお、利用料につきましては、これま

で同様、無料といたします。フットサルコートもバスケットコートも、

利用者の皆さんで、譲りあって仲良く使っていただければと思います。

次に、今後のスケジュールですが、12月13日(土)及び14日(日)に、

新たに整備したフットサルコート・バスケットコートを使用したプレオープン

イベントを計画しています。どのようなイベントになるかは現在、計画中

ですので、ご期待の上、お待ちいただければと思います。

12月15日(月)以降の本運用開始に際しては、ウズパーク全体の

利用可能時間を 30分時間延長し、両施設とも 20時30分までとい

たします。フットサルコートに限り、金曜日を除く平日の 17時30分以

降は予約制での占有運用とします。

一方、スケートパークにつきましては、今月中旬に拡張工事に着工

して、令和8年3月末までの工事期間となりますので、完成まで今し

ばらくお待ちいただければと思います。今年度末の令和8年3月のスケ

ートパークが完成した際は、全エリアの完成を記念したグランドオープン

イベントを開催したいと考えております。

リニューアルした「ウズパーク」が、地元の子どもたちをはじめ全国のア

ーバンスポーツのファンなど、多くの皆様に愛され、これまで以上にたくさ

んの方々にお越しいただきたいと考えています。ウズパークについては

以上となります。

次に、新スポーツ施設について発表いたします。新スポーツ施設の

整備場所については、先般の9月議会閉会日のあいさつにおきまして

「まちなかでの発展的な再検討」を行うと表明させていただきました。

市民からは、反響もありましたし、その背景や真意について、より詳しく説明して欲しいとの声もいただいておりますので、記者会見という

形でご説明させていただきたいと考えております。

体育館とプールからなる新スポーツ施設については、基本構想でもお示ししたとおり、これまで、ボートレース鳴門敷地内を有力候補として検討を進めてまいりました。安全性や経済性、そして市有地であることなど、多くの利点を持つ場所であり、その評価は今も変わるものではありません。

しかし、この数か月で、中心市街地を取り巻く状況は、キヨーエイ鳴門駅前店の閉店、「鳴門市まちづくりデザイン会議」の始動など、大きく変化しました。また、市民の皆さんからも、「体育館を、競技だけの場所にせず、まちのにぎわいづくりや交流とつなげてほしい」という

声も多くいただきました。まちなかをどう再生し、未来へつなぐかという

機運が高まっている状況にあります。

基本構想策定当時には想定し得なかった環境変化を受けて、

今一度、より広い視点から本市の将来像と結びつけた検討が必要

だと決断しました。私は、今回のことの再検討のチャンスをいただいた

のかなという風に考えていました、柔軟な発想で再度の再検討ができ

ればと考えています。

例えば、「体育館」という言葉からはスポーツ活動を思い浮かべます

が、「まちの共有空間・市民の舞台」として、『まちの会所』とか『アクテ

ィブアリーナ』といった新しい発想で考えてみることもできるように思いま

す。スポーツを中核に据えながらも、交流やイベント、健康づくりや寄り

合いも。いざというときは避難所になって、フロアには車も入れられ、

雨天時の阿波踊り会場にもできる。

そんな“まちの会所”がまちなかにあつたらどうだろうか。

県立の体育館が競技の舞台とするなら、市の体育館は暮らしの舞台。多様な用途に対応できる“開かれた空間”として、集い、交流

し、楽しみ、支え合う拠点となるポテンシャルもあるように思います。

特に、駅周辺・まちなかに立地することで、公共交通との連携、日常的にぎわい創出、地域経済の循環を生み出す“まちを動かす

プロジェクト”になっていく可能性も期待されます。今後は、市民・

専門家の意見を伺いながら、経済性・利便性・安全性・将来性・まちづくりの視点といった観点から、従来候補地との比較・評価を行っていきます。

夢を描いていくという姿勢と、場所・広さの問題、これまで検討を進めてきた機能がうまく入るのか、駐車場、色々ございます。勢いで

決めてもいけない。多角的に検討して、冷静に判断する姿勢で、

年度内を目途に結論を出してまいります。鳴門の未来にふさわしい

形を、市民の皆さんとともに考えてまいります。

新スポーツ施設については以上となります。

最後に、クリーンセンター改修事業について発表いたします。

鳴門市クリーンセンターでは、安全にごみ処理業務を続けていくために

必要な改修工事を行う予定としております。今回の改修工事は、排

ガスの安全性などを確保するうえで重要となる「二次燃焼室及び

白煙防止用空気予熱器」などを更新するものであり、操業開始

以来、初めてとなる大規模な工事であるため、今年11月から来年

2月までの4か月間、2炉のうち1炉を停止する必要があります。

これに伴い、処理しきれないごみを、県外に搬出して処分しなけれ

ばならず、多額の費用が必要となりますことから、市民の皆様には、

日頃からごみ減量に取り組んで頂いているところではございますが、

期間中は、特に「燃やせるごみ」の減量に、より一層のご協力をお願

いいたします。特に、燃やせるごみの多くを占める「生ごみ」について

は、計画的なお買い物を心がけて食品ロスを削減していただくことや、

水切りの徹底をお願いいたします。「雑がみや新聞・ダンボールなどの

紙類」は資源ごみ回収に出していただき、リサイクルの推進にご協力く

ださいますよう、お願いいいたします。

クリーンセンター改修事業については以上となります。